開口方法

Apple Watch Series 4の修理をするためにデバイスを開口する方法です。

作成者: Dominik Schnabelrauch



ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2021-03-21 10:12:28 AM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚

はじめに

このガイドを参照して、Apple Watch Series 4の修理をするためにデバイスを開口する方法です。

Apple Watchのディスプレイの開口作業中、Force Touchガスケットにダメージを与えてしまうことがあります。ガスケットのレイヤーを剥がしたり、ケーブルを切断してしまった場合、Force Touchガスケット自体を交換しなければなりません。

デバイスをさ組み立てする際は、コンポーネントを装着するために、**接着剤を交換**してください。

ツール:

- iOpener (1)
- iFixit開口用ピック(6枚セット) (1)
- iFixit開口ツール (1)
- ピンセット (1)
- Curved Razor Blade (1)
- 保護メガネ (1)
- ESD Gloves (1)

ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2021-03-21 10:12:28 AM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚

手順 1 — ディスプレイを開口します。





- 修理を始める前に、デバイスをチャージャーから外して、電源を切ります。
- タッチスクリーンが破損していて、電源を切れない場合は、こちらの代用方法で電源を切ります。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 2 — 安全要件





- スクリーンとWatch本体の間の隙間は非常に狭いため、鋭利なブレードを使ってこの二つを乖離させなければなりません。**作業を始める前に、次の注意書きをよく読んでください。**

  ⚠ 作業中、ナイフから完全に指を離して**指先を保護してください。**不安な方は、ナイフを持っていない側の手をレザーグローブやガーデニング用グローブを着用してください。

  ⚠ **強いプレッシャーを本体に与えないようにご注意ください。**ナイフがスリップしてしまい、怪我をしたりWatchにダメージを与えてしまうことになります。

  ⚠ 保護メガネ**を着用してください。**ナイフもしくはガラスが割れてしまうと、破片が飛び散ることがあります。

ⓘ Watch用ハンドの有無によってコントロール加減が変わる場合は、作業がやりやすい様に着用する、もしくは外してください。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 3



- iOpenerを準備して(もしくはヘアドライヤーやヒートガン) Watchのディスプレイに留められた接着剤を柔らかくするため、ディスプレイ表面にのせて温めます。
  - スクリーンが完全に温まり、ケースを固定している接着剤が柔らかくなるまで、iOpenerをデバイス上に少なくとも2分間置きます。

ⓘ ディスプレイの接着剤を十分に柔らかくするには、iOpenerを複数回に渡って温めて、作業を繰り返す必要があります。

手順 4







- ディスプレイと外ケースの間の薄い隙間にカーブしたブレードの先端を載せます。 デジタルクラウンに最も近いディスプレイの短辺側から始めます。
- 隙間にしっかりと*まっすぐ押し込みます*。
- 差し込んだら、ブレードを傾けながらディスプレイを少し持ち上げます。

⚠ Force Touchセンサーへのダメージを防ぐため、ナイフを2 mm以上挿入しないでください。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 5



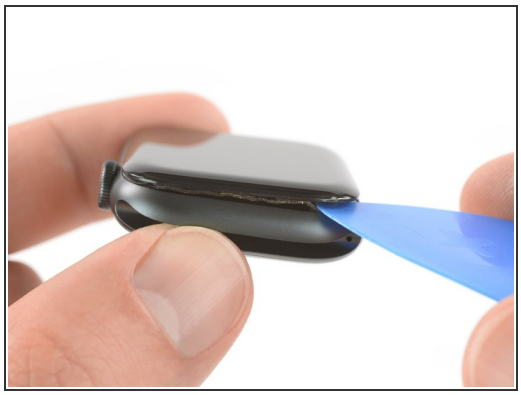


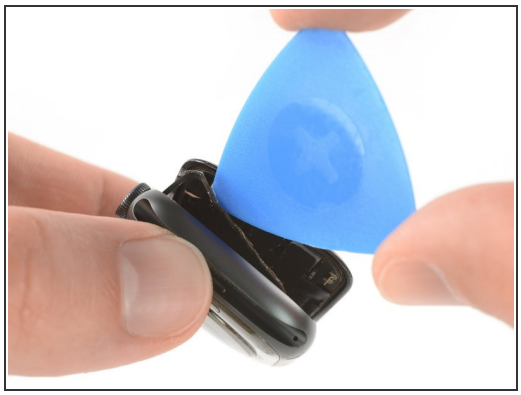
- カーブしたブレードで小さな隙間が開いたら、ブレードを取り外して開口ツールの先端を隙間に差し込みます。
- 親指をピボットのようにして、開口ツールを隙間に押し込み、ディスプレイを少し持ち上げます。

⚠ まだディスプレイを完全に開いたり切り離したりしないでください。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 6





- Force Touchタッチセンサーは、Watch本体ではなく、ディスプレイフレームに装着しているものがあります。 この場合、ディスプレイの下に開口ピックを挿入し、Force Touchガスケットをディスプレイから慎重に離してください。

  ⚠ Force Touchガスケットを再利用するには、ディスプレイ端の下を慎重にこじ開けます。 ディスプレイを持ち上げた際に、Force Touchガスケットが剥がれてしまう場合や、ガスケットのレイヤーが外れる場合は、Force Touchガスケット自体を交換しなければなりません。

- Force Touchガスケットとディスプレイ間の接着剤を剥がすため、ディスプレイ周辺に開口ピックをスライドします。

  ⚠ コンポーネントにダメージを与えないように、開口ピックを2 mm以上差し込まないでください。

© iFixit — CC BY-NC-SA

手順 7





⚠ ディスプレイケーブルを引っ張らないようにするには、ディスプレイを完全に開かないことです。

- ディスプレイを45度まで最大限に開きます。ピンセットを使ってディスプレイとForce Touch ガスケットの間の接着剤を剥がします。
- ディスプレイケーブル周辺と裏に貼られた接着剤を綺麗に剥がします。接着剤は交換しなければならないため、作業を簡単にするために接着剤を切断することも可能です。

Watchの再組み立ての際は、この時点に戻ってきて、デバイスの再シール方法を参照して作業を続けてください。

デバイスを再組立する際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、認可済みリサイクルセンターR2を通じて廃棄してください。

修理が上手く進みませんか？トラブルシューティングのヘルプには、アンサーコミュニティを参照してください。

© iFixit — CC BY-NC-SA